

時代を語る。

時代を超えて
想いをつなぐ、
読者の皆様の
懐かしい写真を
ご紹介します。

「運河の町 今むかし」 佐々木 善雄（札幌市）

私が幼き頃育った町小樽。映画「三丁目の夕日」そのままに、昭和の良き時代で埠頭・倉庫群・運河が遊び場所であり、其の頃の運河は朽ちた舳や妙見川から流れ込むゴミと腐敗臭の溜り場でした。現在観光撮影スポットとなって居ります浅草橋からの運河ですが、子供の頃



昭和54年7月頃撮影



昭和54年7月頃撮影

は「浅くて臭い浅臭橋」と言っており、毎年1回浚渫船でのヘドロ除去作業で鼻をたらし、袖口を光らせながら見ていた子供時代でした。運河の近くには夕方になると仕事帰りの強面の港湾作業員で店から溢れ出る立ち飲みカウンターだけのモッキリ居酒屋が

数軒あり、魚肉ソーセージや缶詰を開け声を荒げて酔い潰れて居る人も居りました。

今でこそ水辺からの運河クルーズが運航されており景観も素晴らしいものがありますが埋め立てか存続かで町を二分した小樽運河です。

現在レトロな街並みで多くの外国観光客で賑わっておりますがチョット前までは今とは違った意味で活気の有った堺町通りでした。



現在の浅草橋より小樽運河



小樽市

「時代を語る」コラムを募集しています。

北海道にまつわる人・モノ・場所・コトなどの懐かしい写真と、その時代への想いのコラムを募集しています。(詳しくは64ページ参照)